



[氏名] 福永 光一、1949 年生

[現職] O-Flex ビジネス・コンサルティング 代表

法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科兼任講師

[職歴] 74 年 (株) 三菱総合研究所入社、83 年日本アイ・ビー・エム (株) 入社、89 年米国 IBM T. J. Watson Research Center コンピュータ研究部門バイス・プレジデント補佐、91 年東京基礎研究所コンピュータ・サイエンス・インスティテュート部門長、93 年開発製造部門マルチメディア事業推進部長、95 年コンサルティング部門に異動、03 年 IBM ディスティングイシュト・エンジニア (技術理事)、IBM コンサルティングサービス (株) パートナー、09 年日本オラクル (株) 入社、インテグレートドソリューション推進統括本部長、11 年 O-Flex ビジネス・コンサルティング代表、現在に至る。

[研究歴] 三菱総合研究所では、各種委託研究、ソフトウェア開発に関るとともに、プログラム検証系、合成系などの研究に従事。IBM 東京基礎研究所では、ソフトウェア・エンジニアリング、エキスパート・システムなどの研究に従事。当時、日本の製造業でほぼ最初の実用的なエキスパート・システムとなった製鋼工場のスケジューリング・システムの開発を指揮。コンサルティング部門に異動してからは、主としてエレクトロニクス関係の企業に対し、製品開発ポートフォリオ管理プロセス、ファブレス事業のサプライチェーン・プロセス、集中購買プロセスなど、企業が時代環境に合わせるために必要となるビジネスネス・プロセス改革を実施し、大きなビジネス効果 (コスト削減、受注率向上など) を実現。コンピュータ・サイエンス研究とビジネスコンサルティング双方という稀な経験を持つ IBM ディスティングイシュト・エンジニアとして、社内の技術戦略を指導するとともに、社内の代表的技術者のコミュニティである IBM Academy of Technology の Technology Council 委員として、全世界の技術者の Technical Vitality 向上に貢献。日本オラクルでは、Package based の業務改革コンサルティングのビジネス開発を指揮。現在は、中小企業 (特に製造業) の経営改革に携わるとともに、オープンなコンサルティング・コミュニティの確立に向けたネットワーク構築を行なっている。この間のコンサルティング経験に関しては、解説論文「コンサルティング論」およびホームページを参照。

<http://ftp.ipsj.or.jp/15dp/Vol1/No4/IPSJ-DP0104002.pdf>

<http://www.oflex.jp/>

[学会活動]

89-91 年日本ソフトウェア科学会理事、02-04 年日本ソフトウェア科学会監事、その他情報処理学会編集委員など多数の委員を歴任。

所属学会:情報処理学会

[社会的な活動] 03 年から 09 年度まで、九州工業大学大学院非常勤講師、客員教授。

[著作] K. Fukunaga, "PROMPTER: a Knowledge Based Supporting Tool for Code Understanding", Proc. 8th International Conference on Software Engineering (1985), K. Fukunaga, S. Hirose,, "An Experience with a Prolog Based Object Oriented Language", Proc. ACM OOPSLA-86, 等

[学歴] 72 年東京大学工学部計数工学科卒業、74 年同大学院情報工学専門課程終了 (修士)、91 年早稲田大学博士 (工学)。